

陳情第5号

流山市内のすべての医療機関（薬局含む）へ、光熱費高騰に対する支援金「（仮称）医療機関等総合緊急対策支援金」の支給を求める陳情書

（陳情主旨）

2023年になってもコロナ禍は続き、診療所・保険調剤薬局では職員の感染での休業や患者減により、経営状態が大きく悪化しています。そこに、電力料金、ガス代の高騰、材料費含む物価の値上げ、ガソリン代値上げなどでのコストアップが加わり、深刻な経営難に見舞われています。

診療所・保険調剤薬局は、診療報酬に基づく事業収益がメインなので、価格転嫁もできず、諸物価の値上げでのコスト増はそのまま、事業所の持ち出しになっています。

近隣の我孫子市では「医療機関等総合緊急対策支援金」を作り、コロナ下での医療体制の維持のために、診療所と薬局へ1事業所10万円の緊急対策支援金を出しています。

流山市内でも、多くの診療所・保険調剤薬局はコロナ禍でも医療活動を継続し、電気代をはじめとする物価高騰でダメージを受けながら活動しています。その現場で働く医師・薬剤師・スタッフを支援するため、流山市でも、「医療機関等総合緊急対策支援金」を出していただけたらと存じます。

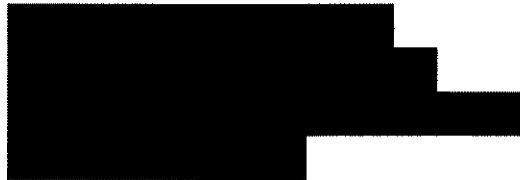
そこで下記の事項を陳情いたします。

（陳情項目）

流山市のすべての医療機関・薬局に「（仮称）医療機関等総合緊急対策支援金」の給付をおこない、光熱費高騰に対する支援を行うこと。

2023年2月3日

陳情者



流山市議会議長 森 亮二